

# 青葉区区民協働まちづくり事業紹介

当協議会の事業の他にも、次のような青葉区と区民の方々が一緒に取り組んでいる活動があります。

## 大倉ダムの魅力発信「鯉のぼり×大倉ダム」(R5.5.4~6)

今年度も計40本の鯉のぼりを係留し、放流される水の白さをバックに鯉のぼりを元気に泳がせました。そして令和5年5月5日、来場者555人目の家族に記念品を贈ることができました。来年度は土木遺産認定を祝い、更なるにぎわいを創出したいと考えています。



## 仙台・作並回文の里づくり

今年度は、より多くの方々へ回文と親しんでもらうため、これまでの回文コンテスト応募作品などを活用しながら、回文を広める活動の一つとして「回文イラストカード」の作成に取り組んでいます。今後、絵手紙やカルタなどに活用し「回文の里・作並」を広げてまいります。



## ほたるの里づくり

今年度も絵画・作文コンクールや放流会を行ったほか、青葉区民まつりでは市民を対象にホタルの学習会を実施しました。新たに「県民の森ホタルの会」が協議会のメンバーに加わるなど、新しい仲間と共にさらに活動の輪を広げています。



## 青葉通「沿道利活用」社会実験2023 ~Fun,Fan,Find青葉~

青葉通沿道の公共空間の利活用を推進するために、青葉通まちづくり協議会が昨年11月に2つのイベントを実施しました。

### 青葉通まちなかピアノ

青葉通地下道と仙台ファーストタワーアトリウムにストリートピアノを設置。(共催：一般社団法人～東北を明るくする～仙台ストリートピアノ協会)



### AOBA MARCHE

大町西公園駅からEchoes周辺の青葉通北側沿道でマルシェを実施。(共催：株式会社The Youth)



どちらも多くの方々に参加いただき、賑わいと交流の空間が生まれました。

## 西公園キャンドルライトファンタジー(R5.12.9)

今年度は4年ぶりの開催となり、地域の皆様と共に、西公園に多くのキャンドルを灯すことができました。来年度も、皆様に笑顔をお届けできるよう、開催に向けて取り組んでいきたいと思っております。



# 杜の都 あおば 第31号

令和5年度 いきいき青葉区推進協議会 会報

## まちづくり活動 助成事業

地域における市民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、自主的・自発的にまちづくり活動に取り組む市民団体の活動に助成金を交付する事業で、毎年1月から2月にかけて募集を行っております。区民の皆さんのまちづくり活動が、地域に根差した継続的で自立した事業へと発展するよう支援します。

事業名	団体名	事業概要
おばあちゃんの玉手箱 -手仕事ワークショップ-	一般財団法人 仙台YWCA	多くの世代が交流する場を設けることにより、孤立・孤独の解消につながる新たなコミュニティを創るため、高齢者や子育て世代など、誰もが安心して過ごせるような手仕事ワークショップを開催します。
白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指します。地域内の町内会や関係団体等との連携を強化し、地域コミュニティの活性化を図ります。
産前・産後のご家庭にむけた地域コミュニティづくり	ドゥーラせんだい	産前・産後の家庭を中心に支援を行うことにより、産後うつや児童虐待防止、少子化対策につなげるとともに、赤ちゃんとのかわり方を学ぶ交流会を開催します。
く(国見ヶ丘)よ(吉成)み(南吉成)の自然を守る-歴史文化を伝える	くよみ郷土研究会	地域に愛着を持たせ、共通の想いを創るためには、地域の自然・歴史文化を知ってもらうことが必要と考え、地域住民を対象とした自然観察会の開催や街道歩きガイドマップの作成を行います。
定禅寺リビングストリート2023	定禅寺リビングストリートプロジェクト	地域の顔が見える日常的な賑わいづくりのため、テーブルセットやベンチ等の歩道での設置や、出店イベント等を実施することで、コミュニティの場の創出を目指します。
tuku-tuku	tuku-tuku実行委員会	作並地区の観光と活性化の中心であるラサントを活用し、多様な出店を提供するイベントを開催することで、作並エリアの交流人口の拡大および地域経済の活性化を図ります。
美術公募展「第12回 せんだい21アンパンダン展2023」	せんだい21アンパンダン展実行委員会	審査がなく誰でも参加ができる公募展を、仙台市内の複数箇所の民間ギャラリーや町内会の管理スペースを会場として開催することで、表現者と観覧者の新たな交流の機会創出や、地域の魅力・活力を高めることにもつなげます。
芭蕉の辻を基点としたまちづくり事業	一般社団法人 芭蕉の辻まちづくりの会	仙台駅から青葉山に向かうエリアの魅力的なまちづくりにつなげるため、仙台七夕まつり期間に笹竹飾りを大町通に設置するほか、講演会や小・中学生の絵画展を開催します。
作並・新川地区の地域資源を活かした賑わいづくり	特定非営利活動法人 作並・新川地区活性化連絡協議会	作並・新川地域の魅力を広くPRし、交流人口の拡大を図ることで、地域の賑わいを創出します。耕放棄地を活用した花畑作りやクレスンの栽培などにより、地域コミュニティの活性化を目指します。
関山街道・日本風景街道ルート登録プロジェクト	関山街道フォーラム協議会	国土交通省の施策「日本風景街道」のルート登録に向けて講演会やワークショップなどの取り組みを行うことにより、地域活性化や観光振興につなげます。
じいちゃん・ばあちゃんの味噌づくり	西川前びーんずクラブ	西川前地域に受け継がれてきた味噌づくりを伝えるために味噌づくり体験講座を実施し、地域の歴史に触れる機会を創出します。



産前・産後のご家庭にむけた地域コミュニティづくり



定禅寺リビングストリート2023



作並・新川地区の地域資源を活かした賑わいづくり



じいちゃん・ばあちゃんの味噌づくり



○青葉区民まつり

○宮城地区まつり

○仙台の昔を伝える紙芝居

○西公園キャンドルライトファンタジー

○大倉ダムの魅力発信「鯉のぼり×大倉ダム」

## AED(自動体外式除細動器)を貸し出します

市民の方が参加するスポーツ大会・イベント・講習会などにご活用ください。  
お問い合わせ：青葉区まちづくり推進課 Tel.225-7211 内線 6138 宮城総合支所まちづくり推進課 Tel.392-2111 内線 5134



編集・発行 いきいき青葉区推進協議会事務局 (仙台市青葉区まちづくり推進部まちづくり推進課内)  
〒980-8701 仙台市青葉区上杉一丁目5番1号 電話：022-225-7211 内線：6136 ~ 6138  
発行日：令和6年2月 印刷：東北紙工株式会社  
掲載記事の関連情報は、仙台市政だよりまたはホームページでご確認ください。  
https://www.city.sendai.jp/aoba-chiikishinko/aobaku/machizukuri/index.html (仙台市公式HP>青葉区>まちづくり)  
このパンフレットはリサイクルできます。(「雑がみ」へ)



会報編集会議メンバー(協議会役員)  
会長 亀田 治  
副会長 浅野 るり子 加藤 晴美 古山 健造  
千葉 富士男 渡邊 博之

## いきいき青葉区 推進協議会とは

区民・事業者・行政が連携と協働を深めながら、主体的、自立的な青葉区のまちづくり活動を推進する組織です。町内会、学区民体育振興会、地区社会福祉協議会、小・中学校PTA等、さまざまな地域づくり関連団体が会員となっており、青葉区が運営を支援しています。



# 令和5年度活動報告



## 第35回青葉区民まつり

(R5.11.3) (会場：勾当台公園)

青葉区民まつり  
公式 Instagram



「つなぐ はぐくむ 青葉の芽」をキャッチフレーズに、当日は天気にも恵まれ、たくさんの方にご来場いただきました。実施に当たり、多くの学生や社会人のボランティアの皆さんにお手伝いをいただいたほか、中心部商店街や企業の皆さんから各種協賛をいただきました。会場内の4つのステージでは、仙台消防階子乗りや吹奏楽、ダンスや落語などのパフォーマンスが繰り広げられたほか、表小路では仙台すずめ踊りの演舞が行われ、たくさん笑顔と活気に溢れていました。また、飲食ブースやキッチンカーなどのおいしいグルメをはじめ、様々な団体のPRブースや子ども向けの体験コーナー、素敵な景品が当たるスタンプラリー抽選会、大抽選会など盛りだくさんの企画をお楽しみいただきました。



## 第35回宮城地区まつり

(R5.10.29)

(会場：宮城総合支所前広場ほか)

宮城地区の秋の風物詩である宮城地区まつりは、「みやぎグルメ横丁」として4年ぶりに宮城地区にゆかりのある飲食店が多数出店し、とても賑わいました。また、地域の小中学校や団体などによる伝統芸能、ダンス、楽器演奏などのステージ発表、新鮮な地元農産物の販売、はたらく車の展示や子どもが色々な遊びを楽しめるコーナーなど、家族全員が楽しめる催しが盛り沢山で、大勢の方々にご来場いただきました。



## 個性ある地域づくり計画(宮町地区)

地域住民の皆さんが主体となって、地域の課題解決や魅力づくりに取り組む事業です。宮町地区では、令和4年度からこの事業に取り組んでおり、2年目である今年度にまちづくり計画が完成します。(発行予定日は令和6年3月)



## 青葉区令和風土記

現代版の風土記として、今日現在の地域の状況や遡れる限りの歴史を、地域の皆さん自らで調べ、冊子に取りまとめる事業です。今年度は東六地区の皆さんが執筆等の取り組みを進め、令和6年3月完成予定です。これまで地域で発行された風土記は、青葉区役所まちづくり推進課の窓口にて販売しています。窓口で見本を閲覧することができますので、ぜひお手にとってご覧ください。



### 風土記一覧

販売中 (600円～1,000円)

- ・八幡地区・国見地区・川平地区
- ・荒巻地区・折立地区・旭ヶ丘地区
- ・木町通地区・通町地区・宮城地区

### 完売御礼

- ・桜ヶ丘地区・五橋地区・片平地区
- ・中山地区・小松島地区

## 仙台伝統ものづくり塾

### 堤焼の歴史を知る(全2回)

ものづくり塾の企画を考える「企画チーム」のみなさんがアイデアを出し、準備を進め、「①堤焼製作体験」、「②講話」の連続講座を昨年9月、10月に行いました。

①堤焼佐大ギャラリーの佐藤くに子さんによるギャラリー案内の後、堤人形・松川だるま工人の佐藤吉夫さんを講師に迎え、かつて佐大商店登り窯で使われていた型を使用して面子や野菜・動物の作品を作りました。参加者の皆さんは、粘土の扱い方など職人の技を間近で見ながら、和気あいあいと作品作りに取り組みました。その後、工場や登り窯を、吉夫さんの案内の下見しました。



①堤焼製作体験で、面子の型に粘土を押し込んでいる様子。



②講話では、登り窯の修復についての講師の体験談に、熱心に聞き入っていました。

②「建築と子供たちネットワーク仙台」代表の細田洋子さんに、佐大商店登り窯の震災からの復興の過程や団体の取り組みについてお話しいただきました。質疑応答では、参加者が堤焼への思いを語るなど、会場は熱気に包まれました。

このほか、8月には仙台筆筒協同組合による「仙台筆筒の魅力に触れよう!」、11月には柳生和紙工房による「柳生和紙作り体験」など、ものづくりの魅力を感じられる講座を行いました。

## 仙台の昔を伝える紙芝居

仙台の歴史、民話などを紙芝居の製作・上演を通して次世代に伝えていく事業です。令和5年度は、八木山動物公園や青葉区民まつり等での上演会のほか、紙芝居の上演体験会を行いました。



皆さんからの  
上演依頼も  
お受けして  
います!



紙芝居作品の販売や  
作品・上演道具(舞台・  
太鼓・拍子木)の無料  
貸し出しも行って  
います。

## 令和5年度

### いきいき青葉区推進協議会活動表彰

### 受賞者及び事績

魅力ある青葉区をつくるためにさまざまな活動を行い、その活動内容が優れている方々を、令和5年11月3日開催の青葉区民まつりステージにおいて表彰しました。



左から2番目が八幡町商店街ファンコミュニティ副会長の庄司さん、3番目が東海さん



### 八幡町商店街ファンコミュニティ(八幡町商店会)

地域の学校等と連携しながら、SNSや作品展示などさまざまな方法でまちの魅力を発信し、地域の賑わいの創出に寄与しています。また、七夕などのイベントを毎年行うことにより顔の見える関係づくりを深めるとともに、SDGsを身近に考えられる取り組みを進めるなど、持続可能なまちづくりにも貢献しています。

子どもたちが商店街を周り、お店のSDGsの取り組みを学びながらおかしをもらう「はちまんSDGsハロウィン」の様子。



### 東海 泰典 さん

住職を務める寺の一部を、地区避難施設「松源寺がんばる避難所」として災害時に開放しています。また、毎年境内で防災訓練を実施し、地域住民の防災力・防災意識の向上に貢献するとともに、地域の交流の場としての役割も担うなど、住みよいまちづくりにも寄与しています。



町内会や地域団体と連携して行っている地域防災訓練。